



# 法人よつば たより

## No.21

発行：社会福祉法人よつば ☎04-7199-7931  
 発行日：2023年 3月 1日  
 ホームページ：http://www.kashiwa-yotsuba.jp

### ☆ご挨拶

・「生きづらさを抱える人を支援する講演会」を三月十三日に開催

講師は、あいねつとの松島氏と、ほつとネットの今成氏です。会場と時間は、アミュゼ柏クリスタルホールで、午後一時半開始です。親亡き後や引きこもりや生活のしづらさなどの実態と解決のヒントを探ります。

・「発達障害とは？」をテーマとする講演会を三月十八日に開催

講師はC A S(キヤス)の田熊氏です。会場と時間は、初石公民館のホールで、午後一時から開始です。発達障害の専門家を迎えてお話を聞き、疑問に応えます。

・法人の利用者の方へのアンケート調査と、職員へのアンケート調査を実施

利用者の方たちの意見を聞くこと、職員の思いを知ること、日々の支援の質を高めたいと願って実施しました。結果は、利用者の方や職員や理事会でも公表していきます。

### ☆障害者の体験や思い

・我孫子市在住 A Hさん



私は今、我孫子市のグループホームに入居していますが、以前は柏市に家族と一緒に暮らしていました。父は以前に亡くなっていましたが、母が高齢者施設に入居することになり、一人で暮らすことは無理と、兄弟や相談支援の勧めもあって、仕方なく我孫子市のグループホームに入りました。私が付けた条件は、1Kタイプのグループホームでした。他人と一緒に嫌でしたし、人間関係も苦手です。昼間はどこかの作業所か病院のデイケアに行くことを勧められたので、これまでも通っていたデイケアに、柏市の病院まで行くことにしました。もう二年になります。まだグループホームの人たちとは馴染めていません。でも、職員の人が相談に乗ってくれるので、その点は良かったと思います。本当は自宅で生活したかったです。が、一人で料理や掃除や洗濯は無理なので、仕方がないと思います。これからの事をどうするか、まだよく分かりませんが、まだ五十台なので、作業所に行つて小遣いぐらいは稼ぎたいし、数人は友達も欲しいと思っています。焦る気持ちちは大分落ち着いたと思います。

精神障害という病気は、いろんな夢や希望を奪い取り、家族も苦しめる病気なので、早く治る薬が出来るればどれだけ助かる人がいるか分かりません。

### ☆家族の思いと願い

・流山市在住 A Iさん

まさか自分の子どもが精神障害になるとは思っていませんでした。子ども自身は、今でも自分が障害者だとは、本気では認めていないと思います。学校を卒業して、社会人になったときまでは、特に変なところはありませんでした。まじめな子で、友達も数人いましたし、学校の成績もよかったです。親に心配をかけるようなことはありませんでした。

ところが、社会人になって三年目に、「会社を辞めたい」と言い出しました。主人も私も反対し、頑張るように言いました。しかし息子は、起きれなくなり、部屋から出なくなりました。夜も眠れないと言いました。慌てて病院に連れて行つたところ、「うつ病」の可能性が高いので、しばらく休ませるように、診断書を書いてくださり、薬が出されました。



会社は休職にしてください、辞めずに済みましたが、三か月が過ぎ・半年が過ぎる頃には、本人はやる気を失っていました。一年を過ぎたところで、退職の手続きをしました。それから、少し動けるようになった段階で、アルバイトを始めましたが、長続きできませんでした。ところが、本人はテレビで発達障害のことで見て、自分とよく似ていると言いました。それで、発達障害の心理テストを受けましたが、グレーゾーンという結果でした。障害者ではないが、仕事は出来ないという状態に、本人も私たち家族もお手上げになりました。障害者とは言えないまでも、子どもは困っていました。インターネットで、精神科クリニックを探し、受診をしました。「適応障害」の診断がありました。

ところが次第に、子ども自身はその病気自体も否定するようになり、服薬もしなくなりました。穏やかに過ごせるときもありますが、イライラしたり、暴言を浴びせることもあります。書店でHSP(繊細)について書いてある本を見つけ、息子の状態と似ている部分が幾つもあることを知りました。

しかしその後通院を拒否していただきますので、適応障害という病名はついたままです。病名はともかく、子どもが仕事もできず、外出もあまりせず、以前のような元気さも見られない状態に、親として悲しくなりました。福祉サービスの利用もできず、アルバイトもできない状況で、これからの事を心配していました。ところが思いがけないことが起こりました。何かのチラシに、柏市のフリースクールのボランティア募集が載っていて、そこに時々出かけるようになりました。一応大学は出ていますので、子どもの勉強は見れますし、子どもが好きなようですので、何とか続けてくれればと願っています。このことから立ち直りのきっかけをつかんでくれることを願っています。障害を持つ親の気持ちは、とても切ないものですが、子どものためにも元気でいたいと思います。

### ☆発達障害者の「家族会」と

#### 「当事者会」のご案内

発達障害者の家族会は、会場は流山市ですが、参加者は隣接市の柏市や我孫子市、野田市などから



も参加されています。毎回、近況報告とともに、情報提供や本や記事の紹介、マスコミなどの紹介などを取りあげています。

当事者会では、自分の思いを話す場です。周囲の人たちが発達障害を理解できていないことがあつて、すれ違いや誤解も生まれますので、どんな思いでいるかを話す場となっています。

### ※集まりの紹介

- ・家族会 毎月第二土曜日朝十時から、初石公民館にて
- ・当事者会 毎月第四日曜日午後一時から、初石公民館にて
- ・問い合わせ 勝本まで  
090-3696-1589

### ☆法人の事業案内

- ・グループホーム「沼南荘」、昨年末から1Kタイプの女性専用住居を開始しました。逆井駅より徒歩五分のところですよ。宿直者もいますので、安心できます。問い合わせは、沼南荘〇四・七一九三・五〇三二です。
- ・生活介護事業「まーる沼南」、

昨年夏からオープンしています。現在登録者は九名で、精神・発達・知的障害の方が利用されています。

送迎もします。問い合わせは、青い鳥の〇四・七一九九・八一一九までお願いします。

### ☆先人の言葉

・タバコのニコチンがアセチルコリンの代役を果たして、脳内のアセチルコリン受容体に結びつきます。ですからタバコを吸うと頭がすつきりすると言われるのは、それによって一瞬、集中力が高まるからです。

・伴走型支援の役割は、大きく二つあります。その一つは、本人が自尊の感情をベースに生きるための能力や経験を身に付けることを手助けすることであり、もう一つは、頼ることのできる他者との関係づくりをサポートすることです。

### 柏部会の案内

日時 三月二十五日(土)

午後一時から

会場 パレット柏C会議室

### 流山部会の案内

日時 三月二十四日(金)

午前十時から

会場 初石公民館 講議室

